

2022年

10月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



赤い羽根共同募金運動に伴うイラスト・標語の受賞作品が決定しました。



岡山小学校6年 江上 愛空 さん

イラスト部門

忠見小学校6年 室園 碧彩 さん

赤い羽根

心をつなぐ

あたたかい

標語部門



最優秀賞



輝翔館中等教育学校3年 大坪 結 さん

イラスト部門

筑南小学校4年 朽網 萌々香 さん

広げよう

ぼきんにこめる

その思い

伝えたい

思いをのせて

赤い羽根

長峰小学校5年 中島 勇哉 さん

標語部門

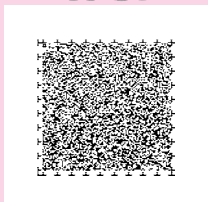


優秀賞



上陽北訥学園4年 林 柚奈 さん

(※ 標語は原文のまま引用)



今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まります。皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最優秀賞及び優秀賞作品は八女市における共同募金事業推進のために活用させていただきます。

「赤い羽根共同募金」の愛称で親しまれている共同募金運動をより身近に感じていただき、ともに支え合う「福祉でまちづくり」への関心を高めることを目的として、八女市独自の取り組みでイラストと標語の募集をさせていただいたところ、八女市内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、障がい者支援施設より、七五九点の応募をいただきました。

「赤い羽根共同募金」の愛称で親しまれている共同募金運動をより身近に感じていただき、ともに支え合う「福祉でまちづくり」への関心を高めることを目的として、八女市独自の取り組みでイラストと標語の募集をさせていただいたところ、八女市内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、障がい者支援施設より、七五九点の応募をいただきました。

●各種講座開催のご案内

●「デジタルシニア講座」のご案内

八女市社会福祉協議会では、スマートフォン等を活用することで、日常の暮らしをより楽しくし、地域での活動をより良いものにしていただくことを目的に「デジタルシニア講座」初めてのスマホ教室を開催します。興味のある方は、お気軽にご参加ください。

- 対象 65歳以上のスマートフォン初心者の方
- 定員 各会場20名
- 講座内容

参加費無料

- ① アプリのインストール方法、インターネットの利用方法
 - ・注意事項と詐欺にあわないための対策等
- ② 地図アプリの利用方法
 - ・経路の探し方
 - ・ストリートビューの使い方等
- ③ SNSの利用方法（LINE）
 - ・LINEとは？（基本的な使い方）
 - ・写真や動画の送信方法、ビデオ通話
- ④ マイナンバーカードの申請方法、ワクチン接種証明書
 - ・マイナンバーカードを使ったオンラインサービスの紹介と使い方
- ⑤ マイナポイントの活用方法、マイナポイントの予約・申込

●講師 ドコモショップ八女店スタッフ

地区	日程	時間	場所	問い合わせ
立花	10月6日(木)、10月13日(木) 10月20日(木)	15時～	立花総合保健福祉センター「かがやき」	立花総合保健福祉センター ☎ 37-0036
星野	10月18日(火)、10月25日(火) 11月1日(火)	10時～	星野総合保健福祉センター「そよかぜ」	星野総合保健福祉センター ☎ 52-3165
上陽	10月18日(火)、10月25日(火) 11月1日(火)	13時30分～	八女市地域福祉センター	八女市地域福祉センター ☎ 54-3629
矢部	11月7日(月)、11月14日(月) 11月21日(月)	10時～	矢部公民館	高齢者生活福祉センター ☎ 47-3123
黒木	11月7日(月)、11月14日(月) 11月21日(月)	13時30分～	黒木地域交流センター「ふじの里」	黒木地域交流センター ☎ 42-2131

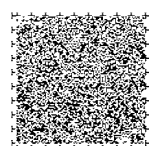
(※時間は全地区の全ての日程で2時間程度を予定しています)

「家族のための介護について考える講座」開催のご案内

近年、少子高齢化、核家族化にともなう介護機能の低下、介護への心理的なストレス、長期にわたる介護の負担等が大きな問題となっています。八女市介護者の会「ひまわり」と八女市社会福祉協議会では、介護の知識や方法への理解を深めるとともに、介護に関する悩みや情報等を互いに話し合う場として、下記のとおり講座を開催します。

参加費無料

- 日時 10月12日(水) 10時30分～12時
- 会場 八女市地域福祉センター（上陽）
- 講師 株式会社オフィスマロウブルー 財津園美氏
- 内容 在宅介護者のリラクソスの時間 ～アロマ講座～
- 対象者 在宅介護者及び介護に関心のある方
- 主催 八女市介護者の会「ひまわり」 八女市社会福祉協議会
- 問い合わせ 社会福祉協議会本所 ☎ 23-0294





住みよいまちづくりをめざして福祉出前講座を開催

立花小学校4年生を対象に、8月26日(金)に車椅子体験学習、9月5日(月)に聴覚障がい者との交流を行いました。

「車椅子体験学習」では、車椅子生活をされている講師によるお話と車椅子体験を行いました。

講師からは、バリアフリーの自宅や仲間たちとの外出・スポーツ等の様子をはじめ、いろんなタイプの車椅子を紹介されました。特に、海外旅行のお話では、行ったことのない外国の様子や体が不自由であってもどこでも行けることに児童の皆さんは驚いていました。

車椅子体験では、段差やスロープのコースを車椅子に乗ったり、介助したりする体験を行いました。リフト車でのリフト昇降の体験は、児童の皆さんにとって貴重な体験になったと思います。

児童の皆さんは、「車椅子に乗る体験、押す体験の両方ができてよかった。」「車椅子生活をされている方の日常生活の様子が分かってよかった。」といった感想を言葉にしてくれました。今後の授業でも、さらに学びを深めながら、住みよいまちづくりのため「自分たちがどうすればいいか、考えられるようにしていきます。」



「聴覚障がい者との交流」では、八女市聴覚障がい者協会に講師になっていただき、今までの生い立ちや生活の中で困っていること等の話をいただきました。

手話専任通訳者からは、手話を覚えようと思ったきっかけや「ヘルプマーク」(支援や配慮を必要としていることを周りに知らせるマーク)等の様々なマークを紹介されました。また、いろんなあいさつ等を手話ではどのように表現するのか、クイズを出し児童より発表いただきました。

児童の皆さんからは、「たくさん手話を覚えたので、他にも色々な手話を調べようと思いました。」という感想があげられました。

八女市社会福祉協議会では、地域住民の皆さんや児童に対する「福祉出前講座」を行っています。いろんな福祉学習プログラムも用意しております。

このプログラムが誰もが安心して暮らせるまちづくりの地域づくりの一助にならねばと考えておりますので、ぜひ活用ください。



▲ヘルプマーク

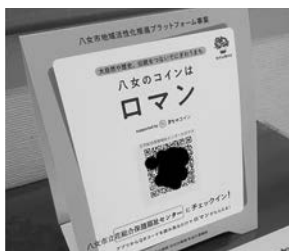


まちのコインで「かがやき」を楽しむ

立花総合保健福祉センター「かがやき」では、まちのコインで皆さんに「かがやき」をもっと楽しんでもらいたいと、いろんな体験を用意しております。

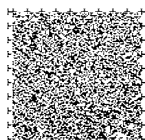
「かがやきに入館されたら(入浴・休憩)50円差し上げます。」「かがやき食堂で食事しよう、100円差し上げます。」「かがやきの貸部屋を借りていただいたら100円差し上げます。」「かがやきの売店で千円以上買い物したら200円差し上げます。」「かがやき」に来て楽しんでいただけると、どんどんコインが貯まります。

『まちのコインをやってみたいけど、登録の仕方が分からない』『どう方も安心ください。』『かがやきで始めます。』まちの『コイン』設定を手伝います。『』という体験もあります。人と人、人と地域をつなぐまちの『コイン』。ぜひ、「かがやき」でまちの『コイン』を体験してみてくださいいかがですか?」



◎問い合わせ

八女市立花総合保健福祉センター
かがやき ☎ 0943-800000





あれから10年 忘れない 声を掛け合い、早めに避難

八女市星野総合保健福祉センターには、2012年九州北部豪雨災害の写真が展示されています。あの日、今までに経験したことのない豪雨の中でも地域の皆さんはお互いに声をかけ合い、近くの公民館に避難をされました。自然豊かな星野村の風景が一瞬で信じられない光景になったことを忘れることができません。

当時まだ幼く災害を知らない中学生が、展示している写真を見て「お姉ちゃんから学校に行けなかったと聞いたことがある。」と話してくれました。

あれから10年、星野地区では消防団主催で地域ごとに図上訓練の開催や行政区長、民生委員児童委員、福祉委員の三者意見交換会が開催されました。

災害に対する意識が変わり、早めの避難の声かけや、必要な方には避難所までの送迎等、地域でいろいろな支援をされています。

「2012年九州北部豪雨 あれから10年 忘れない 声を掛け合い、早めに避難」地域の皆さんが安心して暮らせる地域づくりには、少しでも力になれるようにこれからも活動を行っていきま



星野の地域づくりを考える 「星野未来塾」の活動紹介

「自分たちの地域のごとは、自分たちで決めていく」「星野未来塾」では、星野村内外の参加者が一緒になって考え、星野村を活性化させ未来につないでいくための取り組みをされています。

「2030年に向けてのスローガン『星野村・2500計画』星がいっぱいの村に2500人の人がいる」をもとに活動が行われており、生活支援コーディネーターとして参加をする中で「やらなければならぬこととはわかっているが、ひとりではできない。何から始めたらいいのかわからない。」「資源はたくさんあるがどうやって活かしているのかわからない。」等、様々な課題があることが把握できました。

塾長の山口聖一さんからは今出てきている課題について一緒に考えて行動を起こすことが「星野未来塾」であり、改めて今までしていること（地域資源）の確認や今後できそうなこと（プロジェクト）（課題）等、地域の中で考えて行動を起こしていくことが地域づくりにつながる話されました。



▲農業、人口減少、空き家対策等の課題解決に向けた話し合いの様子



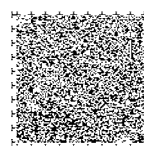
サロン対抗ボール ゲーム大会が開催

星野地区では、シニアクラブとサロン合同のボールゲーム大会を開催していましたが、「コロナ禍のため残念ながら2年間中止となっていました。同時に、その頃からサロン活動の在り方について、サロン代表者の皆さんとも話し合いをしてきた結果、「他のサロンの方と交流をしたい。」という意見もあり、サロン対抗ボールゲーム大会を開催することにしました。

当日は感染対策が一番大切なので、総合保健福祉センター「そよかせ」の広い多目的ホールを使用し、手指消毒、検温と感染対策をしっかり行うことも、参加者の皆さんの白熱したボールゲーム大会となりました。

送迎バスで帰る時「また会おうね。」「楽しかったよ。」「とお互いに手を振って解散され、高齢化や「コロナ禍の中、なかなか会えなかった旧友に会えたり、お元氣な先輩方に元氣をもらった」とサロン利用者の皆さんの刺激にもなったようです。

「コロナ禍の中でも、少しずつ地域づくりを模索しながら、地域の交流とサロン活動の活性化につながるような取り組みが行われています。」



●立花子ども居場所づくり活動報告

立花地区子ども居場所づくり事業 笑顔いっぱい楽しい公民館に 行こう！

働く女性の家と八女市社会福祉協議会では、こどもたちの学びや遊びを支援しています。

こどもたちが、放課後や休日に、自由に集まって、思い思いに過ごしたり、遊んだりできる場所を地域の中で提供したいとの思いで、ロビーに専用スペースを設けたり、図書室でゆっくり読書ができるような環境づくりを行っています。

通常の利用時間に加えて、毎週木曜日は18時まで、こどもたちが安心して過ごせる居場所として提供しています。



◎利用時間

月曜日～日曜日 (9時～17時)
※木曜日のみ (9時～18時)

◎問い合わせ

八女市社会福祉協議会 立花支所

働く女性の家

☎ 37-0036
☎ 37-1522

●研修会開催の報告

心配ごと相談員研修会を 開催しました

8月2日(火)、心配ごと相談員研修会を開催しました。心配ごと相談において近年寄せられている相談は多岐に渡っており、法律に関わるような相談も増えています。

今回は講師に久留米公証役場の福嶋 齊なほ氏をお招きし、相続及び遺言について理解を深めていただきました。相続時におけるさまざまな問題や遺言書作成時の注意点、相談時の注意点等について分かりやすく解説いただきました。

心配ごと相談は、身近に相談できる場として毎月実施しています。詳細については、本紙裏面をご覧ください。

◆相談は無料で秘密厳守です。どうぞ、お気軽にご相談ください。



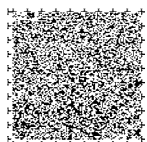
●視察研修受入れ報告

小郡市民生委員児童委員視察研修受け入れ

7月20日(水)、小郡市民生委員児童委員連絡協議会12名が八女市社会福祉協議会の小地域福祉活動(福祉委員制度やふれあいサロン等)に関する視察研修のため来館されました。

当日は、八女市の福祉委員制度及びふれあいサロンの設置状況や必要性、設置に至るまでの経緯、推進活動について説明を行いました。小郡市民生委員児童委員からは、福祉委員設置までの推薦から委嘱までの流れや個人情報取り扱い等の質問を受け、お互いに情報共有を図りました。

最後に、小郡市民生委員児童委員連絡協議会の近藤会長より、「今回の視察で学んだことをいかして、小郡市でも福祉委員設置につなげていきたい。」と話されました。





不登校・ひきこもり親の会で語り合い、心を軽くしませんか？

毎月第2土曜日、13時30分から15時30分に、ほっと館やめにおいて、笑福クラブ親の会（八女地区不登校・ひきこもり親の会）による語りの会が開催されています。

不登校やひきこもりの子を持つ親（家族）同志だからこそ、不安や苦しさを分かり合えることがあります。親（家族）が元気になることを目標に活動が行われています。その場で話された内容については、秘密は厳守されますので、お気軽にご参加ください。

また、ほっと館内では、不登校やひきこもりに関する本の貸し出しも行ってあります。興味のある方はお寄りください。



8月の料理教室は、利用者のリクエストで餃子と夏野菜サラダ、夏野菜をトッピングしたカレーを作りました。オクラや茄子は、ほっとフレンドふぁーむで収穫したものです。「家から出て、人と関わる機会が欲しい。」と思われている方、野菜作りや料理教室へ参加してみませんか？参加を希望される方は、下記までご連絡ください。



10月の行事予定

- 10月8日(土)13:30～ 笑福クラブ親の会（不登校ひきこもり親の会）定例会
- 10月11日(火)10:30～ お料理教室
（※3密対策を十分にとります。新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止になる可能性があります。）
- 10月22日(土)14:00～ ひまわりの会定例会

精神対話士による無料相談会（※毎月第2土曜日・第4木曜日）

- 面談日：10月8日(土)・10月27日(木)
13:30～15:30
（事前予約制となっております。事前にお電話ください。）
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止になる可能性があります。

※「ひまわりの会」は、生きづらさを感じる子の保護者、そしてそんな皆さんをサポートする人の集まりです。



ほっと館やめ(上陽)より ～手作り体験カラーサンドアート～

カラーサンドアートをご存知ですか？色のついた砂（カラーサンド）を使って好きな模様を作るハワイ生まれのインテリアです。8月は、利用者の皆さんがこの体験事業に挑戦されました。まずはワクワクの材料買い出し。出来あがり想像しながら、カラーサンド、透明のグラス、装飾用の各種小物を選びます。そしてドキドキの作品づくり。時折真剣な眼差しも見られた楽しい挑戦の成果として個性豊かなアート作品が出来あがりました。利用者のお一人は、9月に誕生日を迎えられるお兄様へのプレゼント用に思いを込めて作られました。



◆ほっと館は、あなたの居場所のひとつです。ほっとできる居心地のいい居場所を一緒に創造しませんか！

（※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。）



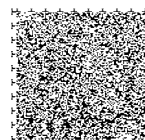
問い合わせ

ほっと館やめ

☎22-8315 携帯090-6893-5701
メールアドレス：hottokan@road.ocn.ne.jp

ほっと館やめ（上陽）

☎24-9820 携帯090-7457-4053
メールアドレス：hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。



生活支援ボランティア 養成講座のご案内

参加費
無料

高齢化が進む中、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯も増えており、生活する上で、ごみ出しや電球交換等ちょっとした手助けを必要としている人も多くなっています。

生活支援ボランティアは「ちょっとした困りごと」をお手伝いする活動です。ぜひこの機会に、身近で取り組めるボランティア活動にチャレンジしてみませんか？

- 日 時 10月28日(金) 13時30分～
- 会 場 八女市社会福祉会館3階大会議室
- 内 容 ・八女市における生活支援サービスの必要性について
・お助けサポート事業について
- 対 象 ボランティアに興味のある方
- 申込み・問い合わせ 八女市社会福祉協議会本所
☎ 23-0294

地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- 年齢：男性17～69歳 女性18～69歳
※65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- 体重：男女とも50kg以上
- 新型コロナウイルスのRNAワクチン(ファイザー社・武田/モデルナ社製)を接種した人は、接種後48時間を経過していれば献血にご協力いただけます。

- 忠見地区：10月17日(月)
会場：熊谷光玉園
10時00分～11時30分/12時30分～15時30分
- 岡山地区：10月24日(月)
会場：八女市室岡公民館
10時00分～12時00分
- 川崎地区：10月24日(月)
会場：八女市東公民館
14時00分～15時30分
- 三河地区：11月1日(火)
会場：八女市立三河小学校
10時00分～11時30分
- 長峰地区：11月1日(火)
会場：マンガ倉庫 八女店
13時30分～15時30分
- 問い合わせ：
八女市献血推進協議会(八女市社会福祉協議会内)
☎ 23-0294



日常生活自立支援事業 生活支援員養成講座 受講生募集

参加費
無料

八女市社会福祉協議会では、社会福祉法に基づいて、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等に不安がある方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いする事業を行っています。

今回、この事業をサポートしていただく生活支援員の養成講座を開催します。興味のある方等、お気軽にご参加ください。

回	日 程	内 容
1	11月21日(月) 13:30～15:00	「認知症の理解と支援」 講師：社会福祉法人 八女福祉会 坂本 純子 氏
2	11月29日(火) 13:30～15:00	「障がいの理解と支援」 講師：医療法人社団 筑水会 野中 恵美 氏
3	12月 6日(火) 13:30～15:00	「日常生活自立支援事業の説明 及び生活支援員活動について」 講師：福岡県社会福祉協議会 生活支援課担当者

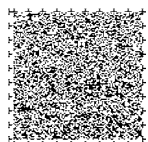
- 会 場 八女市社会福祉会館(2階中会議室)
- 申込み・問い合わせ 八女市社会福祉協議会本所
☎ 23-0294

八女市社会福祉協議会 福祉総合相談センター

お気軽にご相談ください(窓口での相談もできます)

本 所(八女市社会福祉会館内)	☎ 23-0294 携帯090-8661-3684
上陽支所(八女市地域福祉センター内)	☎ 54-3629
黒木支所(地域交流センターふじの里内)	☎ 42-2131
立花支所(立花総合保健福祉センターかがやき内)	☎ 37-0036
矢部支所(総合福祉団地ゆいのもり内)	☎ 47-3123
星野支所(星野総合保健福祉センターそよかぜ内)	☎ 52-3165

困っているけど、どこに相談していいかわからない。そんな時は、福祉総合相談センターまでご連絡ください。



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード



聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。



リサイクル適性(A)

環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

相談
無料

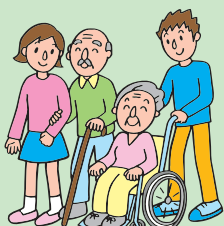

10月

11月

各種相談

のお知らせ

秘密
厳守

開催日	社協本所 社会福祉会館 TEL 23-0294	立花支所 総合保健福祉センター(かがやき) TEL 37-0036	黒木支所 地域交流センター(ふじの里) TEL 42-2131	上陽支所 地域福祉センター TEL 54-3003
	心配ごと相談 第1・3・5水曜日 (13:30~16:00)	心配ごと相談 第2水曜日 (9:30~12:00)	心配ごと相談 第3水曜日 (9:30~12:00)	心配ごと相談 第4水曜日 (13:30~16:00)
10月	5・19日	12日	19日	26日
11月	2・16・30日	9日	16日	22日 <small>23日が祝日のため、 22日火に変更</small>
	無料法律相談(要予約) 第2金曜日 (13:30~16:00)		無料法律相談(要予約) 第3金曜日 (13:30~16:00)	無料法律相談(要予約) 第4金曜日 (13:30~16:00)
10月	14日		21日	28日
11月	11日		18日	25日
	司法書士相談 第3金曜日 (13:30~16:00)		司法書士相談 第2金曜日 (13:30~16:00)	
10月	21日	14日		
11月	18日	11日		

相談窓口については、ご都合のよい会場へお越しください。

ご寄附ありがとうございました
令和4年8月1日~8月31日届



寄附金は、地域のサロンやボランティア活動等、地域の身近なところで行われる福祉活動に大切にに使わせていただきます。

香典返し寄附

■社協本所受付分

- 西今 大塚 栄子 様
- 杉町 松崎 清子 様
- 松崎 恒希 様
- 西矢原町 吉田 カヨ 様
- 吉田 亨 様
- 柴尾 井上ムツエ 様
- 井上 隆徳 様
- 宮野 山口 和彦 様
- 山口 信子 様
- 蒲原 室園美恵子 様
- 室園 哲也 様

■上陽支所受付分

- 東川端 高木 昌子 様
- 高木 幹雄 様

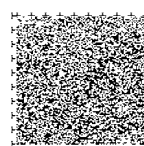
■黒木支所受付分

- 田本 田平 高博 様
- 武雄 様
- 安達 和正 様
- 安達 フクミ 様
- 堤 和充 様
- 堤 セツ子 様
- 中原 秀敏 様
- 中原 高子 様
- 川上まさえ 様
- 川上 富造 様
- 轟 秀誓 様
- 轟 貞子 様
- 井手 健二 様
- 井手 順二 様
- 山浦フミヨ 様
- 田中サツキ 様
- 笹原 辰司 様
- 笹原 愛子 様
- 柴尾 和子 様
- 柴尾 敏治 様

■星野支所受付分

- 黒岩 中島 法喜 様
- 中島 賢明 様
- 野広尾 牛島 義治 様
- 牛島 悦子 様
- 田中 和俊 様
- 田中トミエ 様
- 木下 章 様
- 木下久美子 様
- 山科 義敏 様
- 山科 絹枝 様

本会へのご寄附は、確定申告をされることにより、税額控除が受けられます。



「やめ社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。